

活 動 報 告 書

上下水道部会

事業名称	公益社団法人 日本技術士会 中国本部上下水道部会 2021 年度 中国本部上下水道部会例会・講演会 (公社) 全国上下水道コンサルタント協会中国・四国支部との共催 (以降: 水コン協)		
実施時期	2021 年 8 月 21 日 (土) 12:50~17:00		
実施場所	発信会場: 広島 第3 ウエノヤビル6階 コンファレンススクエア 受信会場: 岡山、津山、島根、近畿、富山の各拠点会場で集合参加方式 統括本部は個別オンラインによる参加方式(広島も一部個別オンライン方式)		
参加人数	例会 32名 (会場 26名、Web 6名) 講演会 141名 (会場 50名、Web91名) (うち水コン協 16名)	CPD	2 時間 40 分
事業内容 と感想	中国本部上下水道部会の 2021 年度例会・講演会を以下のとおり実施した。 <u>上下水道部会例会 (12:50~13:30)</u> 2020 年度活動報告、2021 年度事業計画、中国本部からの話題提供など <u>講演会 (13:50~17:00)</u> 基調講演 (14:00~15:00) 「これからの地方の水インフラ」 講師: 岡山大学 学術研究院 環境生命科学学域 教授 永禮 英明 氏 講演 1 (15:10~16:10) 「日本下水道事業団における BIM/CIM への取り組み」 講師: 地方共同法人 日本下水道事業団 事業管理審議役 倉本 喜文 氏 講演 2 (16:10~16:50) 「広島市水道事業におけるリスク対応策」 講師: 広島市水道局 技術部 設備課 浄水係長 平賀 学 氏 例会では、会員の状況、2020 年度活動、2021 年度事業計画などの報告を行った。引続き、中国本部から技術士施行規則の一部改正に関する話題提供が行われた。 基調講演は、地方の水インフラ管理者が抱える課題に対して、どのように対応するべきか? 方向性を問いかける様な講演であった。講演 1 は、膨大な下水道インフラの設計・施工・維持管理において、BIM/CIM を有効に活用して効率アップを目指す取り組みに関する講演であった。講演 2 は、水道事業における災害事故に対する事後対応の事例紹介や、事故を教訓とした事前準備対策等に関する講演であった。上下水道部門における人口減少への対応方法、最新の技術、近年多発する豪雨災害への対応など非常に興味深い講演会であった。なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者の検温、消毒を徹底し、講演会場の窓を開放し、扇風機によるサーキュレーションを行った。しかしながら、窓を開放したことに起因する交通騒音のため講演を聞き取りにくい会場もあった。なお、講演会の様子は、水道関係の新聞に記事が掲載された。		
	 		